

石垣島で、ミサイル基地に反対して3・4・5全国集会

住民と集会参加者一同が「石垣島決議文」を発した

防衛省は三月五日早朝、ミサイル発射用軍事車両一五〇台を、公道を走らせて同月一六日に開設する新基地に搬入した。抗議する市民を排除して強行したのだ。

同日午後、「石垣島に軍事基地をつくらせない市民連絡会」の主催による「島々に戦場になさせない全国集会 in 石垣島」が開催された。島内外から二〇〇名が結集し市街をデモ行進した。集会で発せられたアピール文を掲載する。



2・26 沖縄

沖縄・琉球弧の軍事要塞化を許さな！ 那覇で1600人が集会・デモ



琉球弧の軍事要塞化を許さな！ 1600名がデモ (2月26日 沖縄)

島々を戦場にさせない！

「石垣島決議文」

二月二六日、前日の寒風荒天から一転して初夏の陽射しどなった日曜日の午後、那覇市内「県民ひろば」にて「島々を戦場にするな！」沖縄を平和発信の場に！ 2・26緊急集会」が開かれた。主催は、この間沖縄・琉球弧の軍事要塞化の動きに警鐘を鳴らしてきた市民団体「ノーモア沖縄」

今日、私たちは県内、全国各地そして石垣島の各地域から「島々を戦場にさせない！」との思いで集いました。

全國集会 in 石垣島アピール

進められようとしていま

地のある街が戦場になる道

はイヤです。

沖縄伊江島・わびあいの里 学習会に参加して

読者からの手紙

三月四日・五日の両日、沖縄・伊江島において「第二回ゆきり合い・助け合い・学び合う会」が開かれた。対面方式での開催は四年ぶり。遠くは北海道矢臼別をはじめ沖縄内外から一二〇名余が参加した。伊江島は沖縄北部での沖縄戦激戦地であり、現在も島の三分の一が米軍基地として、F-35Bステルス戦闘機訓練などの「前線基地」拠点化が進められている。

伊江島の主催は、一般財団法人わびあいの里である。同法人は、戦後米軍支配下で土地闘争を果敢にけん引し、「復帰以後も反基地運動を闘う」とを決意する」と宣言した。

伊江島の山城博治氏からは、「辺野古新基地建設阻止県民大行動」(三六回目)を終えて抜けつけたオール沖縄波根昌鴻(あはぐん・しようこう)氏を初代理事長とし、会議現闘部長でノーモア沖縄戦・命どう宝の会共同代表の山城博治氏から、「島々を戦場にするな・26緊急集会」開催過程での世代間議論を紹介し、戦争反対を一致点とする新たな運動体構築への総集結を呼びかけた。

二日目には伊江島反戦地主の平安山良尚さんと池原秀明反戦地主会事務局長から、伊江島基地の現状や車両強制使用(米軍特措法)の経過が報告され、「戦争のためには一坪たりとも渡さない」とする反戦地主の不屈な闘いにも注目が高まつた。最後に、緊迫化する戦争危機状況に抗して「私たち

和市民連絡会など二〇名が押し、ガババロー三唱で閉幕した。その後参加者は、集中から大音量で妨害を企てた右翼街宣車の敵対をもの琉球弧の軍事要塞化を打ち砕く沖縄人民の力として、パワーよりビースパワーをラカードや横断幕等を掲げ、思ひ思ひの反戦の意思を示して長蛇のデモを展開した。

一面から

という卑劣極まりない攻撃に打って出でてきたのだ。市東さんを先頭とする反対同盟、全支援勢力は、三里塚闘争六年に及ぶ矜持にかけたこの暴挙に徹底した実力で闘い抜いたのだ。

岸田は口を開けば「国民の命と暮らしを守る」を連呼するが、この暴挙は国民の命と生活の破壊以外なものでもない。

反対平和資料館「ヌチドウタカラの家」を中心に活動

している。

グラムの中、ノーモア沖縄・命どう宝の会共同代表の石原昌也沖國大名誉教授から基調講演を受けた後、「沖縄を一度と戦場にしないために今何をすべきか」と題したシンポジウムでから基調講演を受けた後、まだまま弾劾声明」を明らかにし、市東さんもこの暴挙に屈せず天神峰で農業を続ける決意を表明している。

国家権力＝機動隊の暴力で、市東さんと反対同盟を屈服させようとした空港微塵に粉碎されている。また、岸田は口を開けば「国民の命と暮らしを守る」を連呼するが、この暴挙は国民の命と生活の破壊以外のものでもない。

反対同盟は二月二六日、

すぐさま弾劾声明」を明らかにし、市東さんもこの暴挙に屈せず天神峰で農業を続ける決意を表明している。

沖縄平和運動セントリレートークで登壇し、それ

の活動報告を含めて反

中から大音量で妨害を企てた右翼街宣車の敵対をもの琉球弧の軍事要塞化を打ち砕く沖縄人民の力として、パワーよりビースパワーをラカードや横断幕等を掲げ、思ひ思ひの反戦の意思を示して長蛇のデモを展開した。

この日の集会は、沖縄・琉球弧の軍事要塞化を打ち砕く沖縄人民の力として、パワーよりビースパワーをラカードや横断幕等を掲げ、思ひ思ひの反戦の意思を示して長蛇のデモを展開した。

（市東さんの農地を守る沖



米韓合同軍事演習（3月13日ソウル近郊）

全国で闘う仲間の皆さ
ん！
米帝－バイデン政権は、武器
ウクライナにおいては武器
支援を強化し、戦争の継続
を主導し、アジアにおいて
は「台湾有事」を煽り立て中
国の脅威を躍起になって喧
伝し、朝鮮半島においては
韓国－尹錫悦（ユンソンニョ
ル）政権と一体となって、朝
鮮民主主義人民共和国（以
下、共和国に対する戦争重
圧を強め、国家体制を転覆
する侵略反革命戦争を策動
している。

これに反発し軍事的に対
抗する共和国のミサイル発
射が続き、朝鮮半島は一触
即発の戦争危機事態に至っ
ている。
新自由主義グローバリゼ
ーションが限界に達する状
況の中で、米帝－バイデン
政権は、それでも霸権を護
持するために、同盟関係を
再確認して、世界の分断と
対立を強めてきた。とりわけ、ロシアによるウクライ
ナ侵攻を奇貨として、ロシ
ア・中国を敵視し排除する
構図を作り出そうと必死にな
っている。しかし、ロシア
を追い詰めブーチン体制を
打倒するために始めた戦
争制裁は、ロシアに打撃
を与えることは出来ず、む
しろ世界的な石油・天然ガ
スの価格高騰を招来し、制
裁をしたNATO諸国に深
刻な打撃を与えていた。

またNATO諸国以外の
アフリカ諸国・中南米諸
国・ASEANは、制裁に
は参加せず、米帝の恫喝に
も屈せずにはいる。これは、ロ
シアのウクライナ侵攻の問
題の一方で、アフガニスタン
戦争、イラク戦争に明ら
かなように、これまで侵略
戦争をなしてきた米帝への
対立を強めてきた。とりわけ、ロシアによるウクライ
ナ侵攻を奇貨として、ロシ
ア・中国を敵視し排除する
構図を作り出そうと必死にな
っている。しかし、ロシア
を追い詰めブーチン体制を
打倒するために始めた戦
争制裁は、ロシアに打撃
を与えることは出来ず、む
しろ世界的な石油・天然ガ
スの価格高騰を招来し、制
裁をしたNATO諸国に深
刻な打撃を与えていた。

米韓合同軍事演習は、一日
間にわたり共和国の核・
ミサイル基地占領作戦、上
陸作戦、ピョンヤン占領作
戦・金正恩（キムジョンウ
ン）総書記の斬首作戦の大
規模な野外機動訓練を行
なた。これに先立つ二月には、
共和国がICBM・大陸間
弾道ミサイルを発射したこ
とを受けて、アメリカ空軍
の核搭載可能なB1爆撃
機・戦闘機と韓国空軍の戦
闘機が編隊で飛行す
る訓練を行っている。B1
爆撃機による攻撃を共和国
が強く警戒していることを
知ったうえでの挑発だ。
これに対し共和国は、合
同軍事演習が「朝鮮半島情
勢の緊張を激化させてい
る」として、「今日色濃くな
る緊張と戦争の危険は、ア
メリカと我々への侵略野望
を持つ南朝鮮の無分別な軍
事策動の産物だ」と批判し
ている。そして軍事演習に
因の一端を認めているか
らだ。

米帝の支配体制は、中国
の歴史的な台頭によって確
実に掘り崩されつつある。

東アジアにおいては、共和
国と「台湾有事」が戦争放火
の標的となり、米帝－バイ
デン政権の戦争挑発が続い
ている。

戦争危機が高まる東アジア 排外主義に抗し、反戦闘争に立ち上がる

米韓合同軍事演習弾劾 日韓首脳会談弾劾

2・24 東京

ウクライナに平和を！ 日比谷野音集会・銀座デモ



ウクライナ侵略反対、原発再稼働阻止を訴え銀座デモ（2月24日 東京）

チエムのみずま雪絵さんの
司会で集会が始まった。
主催者あいさつを終がか
り行動の高田健さんが行つ
た。高田さんは、ロシアによ
るウクライナ軍事侵略を彈
劾し、即時停戦を訴えると
ともに、抵抗を続けるウク
ライナ人民、軍事統制下で
反戦を訴え続けるロシア人
民をはじめ、世界中でウク
ライナ反戦闘争を闘う人民
への連帯を表明した。さら
に、日本政府がウクライナ
侵略戦争に便乗して、「先制
攻撃戦略」への転換など、
「防衛三文書」改定の閣議

二月二十四日、ウクライナ
戦争開戦一年のこの日、大
阪でデモ行進が行われた。
参加者は大阪市役所南側の
通称「女性像前」に集合し、
一八時三〇分から、総が
かり行動青年プロジェクト

出発前の集会を行った。全
港湾大阪支部の仲間はこの
年の戦争で死者三〇万人は那
覇市の人口と同じであり、
争協力関西ネットワーク」。
この戦争がもたらした膨大
な犠牲を示し示すとともに、
に、この戦争を口実として
ウクライナ戦争をめぐつての
戦争準備を糾弾した。
デモ隊は大阪市役所前を
出発し、アメリア領事館前
を経由、梅田の繁華街を目
指して行進した。参加者は
三百〇〇人。

NATO加盟諸国とのロシア
に対する挑発をじう見るか
や、ウクライナへの武器援
助などをめぐつて一致でき
ない部分が多くある。この
日の行動でもそれを反映
して発言内容には開きがあ
った。われわれはウクライ
ナをめぐるブルジョアジー
とその代理人による争闘戦
を支持せず、プロレタリア
ートの立場から即時停戦を
求める。

シエムのみずま雪絵さんの
司会で集会が始まった。
主催者あいさつを終がか
り行動の高田健さんが行つ
た。高田さんは、ロシアによ
るウクライナ軍事侵略を彈
劾し、即時停戦を訴えると
ともに、抵抗を続けるウク
ライナ人民、軍事統制下で
反戦を訴え続けるロシア人
民をはじめ、世界中でウク
ライナ反戦闘争を闘う人民
への連帯を表明した。さら
に、日本政府がウクライナ
侵略戦争に便乗して、「先制
攻撃戦略」への転換など、
「防衛三文書」改定の閣議

チエムのみずま雪絵さんの
司会で集会が始まった。
主催者あいさつを終がか
り行動の高田健さんが行つ
た。高田さんは、ロシアによ
るウクライナ軍事侵略を彈
劾し、即時停戦を訴えると
ともに、抵抗を続けるウク
ライナ人民、軍事統制下で
反戦を訴え続けるロシア人
民をはじめ、世界中でウク
ライナ反戦闘争を闘う人民
への連帯を表明した。さら
に、日本政府がウクライナ
侵略戦争に便乗して、「先制
攻撃戦略」への転換など、
「防衛三文書」改定の閣議

二月二十四日、ウクライナ
戦争開戦一年のこの日、大
阪でデモ行進が行われた。
参加者は大阪市役所南側の
通称「女性像前」に集合し、
一八時三〇分から、総が
かり行動青年プロジェクト



ウクライナ戦争即時停戦を訴え 300名が梅田までデモ（2月24日 大阪）

2・24 大阪

ウクライナ侵略戦争一年 大阪でデモ行進

国際法違反の民間人攻撃を
明らかにした。さらに岸田
政権がロシアに「断固たる
措置を取る」と口先で言い
ながら、一方ではロシアか
ら天然ガスや石炭を大量輸
入している現状や、再生可
能エネルギーへの転換を意
味する原発推進の姿勢を鮮明
にしたこと強く批判し
た。

ピースボート共同代表の
畠山澄子さん、日本ボラン
ティアセンター（JVC）代
表理事の今井高樹さんは、
それぞれウクライナ戦争か
らの避難民支援など、国際
支援活動の現場からの報告
を行った。

原子力資料情報室共同代表
の伴英幸さんは、ロシア軍
によるチャーチルノブリ原発
の爆発への攻撃、占拠などの現状につい
て報告した。また、原子力資
料情報室事務局の松久保康
さんは、ウクライナ戦争に
因る燃料価格の高騰や、G
X（グリーントランズフォ
ーメーション）を利用した
東アジアにおける原発回帰政
策への転換を強く批判し
た。

その後、降り出した雨が
強まる中、参加者は東京電
力本店通り銀座へと向
かうデモに出発し、沿道の
市民にウクライナ反戦や原
発再稼働反対を訴えた。

ラカードをかけ、「ウクライ
ナに平和を！」「戦争の標
的になる原発はいらな
い！」「電気と防衛費増額を
アピールを行って氣勢をあ
げた。

2・23 京都

入管法改悪反対！ 外国人を殺すな！

今国会での提出がもくろまれている入管法改悪案の廃案を求め、二月三日に「入管法改悪反対！ 外国人を殺すな！ 京都デモ」がAWCユースの呼びかけで行われた。同日には東京、大阪、名古屋など全国九か所の街頭行動に加えて、ソックター上でハッシュタグデモも行われた。京都デモの参加者は約六〇人だった。

入管法改悪案は、三回目以降の難民申請者の強制送還を可能にし（送還停止効例外を設ける）、送還拒否を刑罰化することによって送還を促進することを内容に盛り込んでいる。これは強制送還業務の行き詰まりの解消のためとされているが、そもそも国籍国に帰ることができるない事情を持つ者に対して、日本政府が退

去強制処分を乱発していること、最大の原因がある。また、本来ならば「難民」として認定されるべき人に對して不認定処分と退去強制処分を付すために、何度も機能していないという問題もある。さらには、退去強制処分を受けているもの、一時的に収容を解かれると「仮放免」という状態に置かれた外国人たちに、就労を禁止し、生活保護、健康保険からも排除することによつて、まさに「生殺し」の状態にして、最終的に送還に同意させようとしている。

今回の入管法改悪反対全国アクションでは、入管法改悪反対に加え、「仮放免者に在留資格を」、二〇二二年に名古屋入管で医療放置に

入管法改悪案の廃案を求める京都市内デモ（2月23日 京都）

もたれた。日本政府が外に、日本人との連帯ならびに主権的闘争によつて入管法改悪を阻止しよう。外主義は、日本の軍拡とも密接な関係にあるという認識をベースに、「排外主義反対」、「植民地支配の謝罪と賠償を」、「軍拡反対」なども盛り込んだ。

今回の入管法改悪案は、ローガンとして呼ばれたAWCユースは独自に、「入管法改悪反対！」、「植民地支配の謝罪と賠償を」、「軍拡反対」などをやってきた。日本は、このようないいに外主義は、日本の軍拡とも密接な関係にあるという認識をベースに、「排外主義反対」、「植民地支配の謝罪と賠償を」、「軍拡反対」などを盛り込んだ。

2・26 東京 ウクライナ侵攻から一年 ロシア経済中心に講演討論集会 G7広島サミット反対行動呼びかけ



講演後、活発に質疑応答がおこなわれた（2月26日 文京区民センター）

二月二十六日、東京・文京区民センターにおいて「ロシ

アによるウクライナ侵攻から一年、反戦運動の今後を考える、2・26集会」が

「戦争・治安・改憲NO！ 総行動実行委員会」の主催で開催された。

ロシアがウクライナに侵攻してから一年、情勢は停

止するところか、激戦で開催された。

日本では、どうぞおめでた



強制執行を許可した千葉地裁に対し怒りの声を叩きつける（3月3日）

千葉地裁を徹底弾劾！ 空港拡張差し止め訴訟

3・3 千葉

空港拡張差し止め裁判が空港建設などの全工事の差し止めとB滑走路の使用禁止、飛行の差し止めを求めたものだ。市東さんの農地強奪後、初めての裁判の傍聴席は、B滑走路延伸、第三滑走路建設など全工事の差し止めとB滑走路の使用禁止、飛行を許可した千葉地裁を弾劾する！

すると反対同盟の太郎良さんが傍聴席前にある柵に手をかけて裁判長に「なぜ強制執行を許可したのか？」それでも夜になぜだと厳しく問いただすが内野俊夫裁判長は黙つてうつむいたままだが、詰問がさらに続く中、裁判長は突然「退庭！」と叫んだ。太郎良さんが数人の廷吏に取り囲まれて引立つた。

「ロシアによるウクライナ侵攻から一年、ブーチンは大ロシア主義を掲げ、さらなる戦争の継続を叫び、ロシア国内の反戦運動を弾圧している。ウクライナに

が、経済面の分析が不足している」と指摘し、「①ロシア・ドイツ間の経済相互依存の歴史、②対ロシア経済制裁の現状」を軸にして講演した。

まず、「ドイツなどEU諸国は天然ガスの供給をロシ

アに大きく依存してきた。一つには中東、アメリカな

が、経済面の分析が不足している」と指摘し、「①ロシ

ア・ドイツ間の経済相互依存の歴史、②対ロシア経

済制裁の現状」を軸にして講

演した。

まずは、「ドイツなどEU諸

国は天然ガスの供給をロシ

アに大きく依存してきた。

ロシアは、和光大学経済経営学部教員で、専門は

エネルギー資源を軸に」と題して日臺健雄（ひだい

たけお）さんが講演を行った。日臺さんは、和光大学経

済経営学部教員で、専門は

ソ連経済史、現代ロシア政

治経済。

日臺さんは、「ブーチンを

ロシアがウクライナに侵攻してから一年、情勢は停

止するところか、激戦で開催された。

こと。東峰部落など地元住民による反対の意思を無視したものである。そこで、この事件は、民間の強制執行を行つた空港会社と裁判所が抱く「成田効の声があちこちから発せられると、裁判長も廷吏も傍聴席から「農民殺しをやめないと國がした約束を破る！」と厳しく指揮した。多くの張本人ではないか」「よくここまで間違っていることをなぐく閉鎖した。人民抑圧のための暴力装

置は、國家権力と空港会社による市東さんの農地強奪地域と別だ」という発想がそもそも間違っていること。農業基盤を壊すことで農地法の趣旨を逸脱するものである。空港を返せ」と大きく激しい弾劾する声が止まらない中で

めようと支援が数名駆け寄った。怒号が飛び交う中で廷吏ともみ合いになった。だ

れまでの非道極まりない

待遇を改めるどころか、さ

らにそれを強化しようといふ、言語道断のものだ。外国人の眞の権利獲得のため

に、外国人と日本人の連帶

で、入管法改悪を阻止しよう。

外主義は、日本の軍拡とも密接な関係にあるという認識をベースに、「排外主義反対」、「植民地支配の謝罪と賠償を」、「軍拡反対」などを盛り込んだ。

今回も、空港拡張差し止め裁判が空港建設などの全工事の差し止めとB滑走路の使用禁止、飛行の差し止めを求めたものだ。

市東さんの農地強奪後、

最初から怒号に包まれた。

「空港会社なぜ強制執行をした！？」、「農民殺しだ！」、「恥を知れ！」、「強制執行を許可した千葉地裁を弾劾する！」。

すると反対同盟の太郎良さんが傍聴席前にある柵に手をかけて裁判長に「なぜ強制執行を許可したのか？」

それでも夜になぜだと厳しく問いただすが内野俊夫裁判長は黙つてうつむいたままだが、詰問がさらに続く中、裁判長は突然「退庭！」と叫んだ。太郎良さんが數人の廷吏に取り囲まれて引立つた。

「ロシアによるウクライナ侵攻から一年、ブーチンは大ロシア主義を掲げ、さらなる戦争の継続を叫び、ロシア国内の反戦運動を弾圧している。ウクライナに

が、経済面の分析が不足している」と指摘し、「①ロシ

ア・ドイツ間の経済相互依存の歴史、②対ロシア経

済制裁の現状」を軸にして講

演した。

まずは、「ドイツなどEU諸

国は天然ガスの供給をロシ

アに大きく依存してきた。

ロシアは、和光大学経

済経営学部教員で、専門は

ソ連経済史、現代ロシア政

治経済。

日臺さんは、「ブーチンを

ロシアがウクライナに侵攻してから一年、情勢は停

止するところか、激戦で開催された。

日本では、どうぞおめでた

い」と叫ぶ声があちこちから発せられると、裁判長も廷吏も

傍聴席から「農民殺しをやめないと國がした約束を破る！」と厳しく指揮した。

の張本人ではないか」「よくここまで間違っていることをなぐく閉鎖した。人民抑圧のための暴力装

置は、國家権力と空港会社による市東さんの農地強奪地域と別だ」という発想がそもそも間違っていること。農業基盤を壊すことで農地法の趣旨を逸脱するものである。空港を返せ」と大きく激しい弾劾する声が止まらない中で

めようと支援が数名駆け寄った。怒号が飛び交う中で廷吏ともみ合いになった。だ

れまでの非道極まりない

待遇を改めるどころか、さ

らにそれを強化しようといふ、言語道断のものだ。外国人の眞の権利獲得のため

に、外国人と日本人の連帶

で、入管法改悪を阻止しよう。